

議案第54号

令和2年度宝塚市一般会計補正予算(第3号)

資料2-2 令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金対象事業一覧

No	交付対象事業の名称	予算上の事業名	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠(対象数、単価等) ④交付対象者(市自ら実施の場合は、一)	事業 始期	事業 終期	総事業費	交付対象 経費	予算区分	担当課
合計						354,177	349,378		
1	子ども家庭支援センター事業	子ども家庭支援センター事業	①子どもの食の支援のため、子ども食堂が実施する子ども向けの弁当の提供にかかる費用の一部を助成し、地域の中で子どもたちを見守り、育ちを支援する ②子ども食堂運営事業助成費(子育て支援グループ活動促進事業助成金) ③上限@160,000円×10団体=1,600千円 ④子ども食堂を運営する非営利団体	R2.4	R2.6	1,600	1,600	当初	子ども家庭支援センター
2	宝塚市立病院発熱外来支援事業	新型コロナウイルス感染症対策医療提供体制整備事業	①発熱外来を実施している宝塚市立病院において患者が増加し、当該診療を拡充する必要が生じた場合に、市立病院所属の医師だけでは対応が困難となることから、医師会から医師を派遣し診療を行うことで、市立病院医師の負担を軽減するとともに、医療体制の整備を図る。 ②医師派遣手数料、事務手数料、保険料 ③(1)医師派遣手数料 @35,000円/日×100日=3,500千円 (2)事務手数料 @1,050円/日×100日=105千円 (3)保険料(医師20名、平均60歳、1年間加入で想定) ・所得補償(補償200万円/月、月払い) @53,800円/月×12月×20名=12,912千円 ・死亡保障(補償5,000万円、半年払い) @201,300円/半年×2期×20名=8,052千円 ④-	R2.5	R2.10	24,569	24,569	5月臨時補正	健康推進課
3	宝塚市新業態開拓等推進事業補助金	新型コロナウイルス感染症対策市内事業者支援事業	①新型コロナウイルス感染症の影響により、甚大な影響が出ている市内事業者の打開策として、また、喫緊の新型コロナウイルス感染症拡大防止やコロナ禍後の変容が想定される社会への適応に向け、予算の範囲内において新業態を開拓する市内事業者を支援することで、市内事業者の売上回復、市中の感染症拡大防止に資することを目的とする。 ②ア 新業態を開始するために必要な備品等の購入にかかる費用への補助(備品購入費・消耗品費・改装費・役員費) イ コンサルティングを受ける費用への補助(委託料・専門家謝金・専門家旅費) ウ 多くの事業者が利用できるシステム構築にかかる費用への補助(備品購入費・消耗品費・印刷広告宣伝費・開発費・人件費(システム等の構築にかかる臨時的な人件費に限る。))・専門家謝金・専門家旅費・委託料・改装費・役員費) エ プロモーション等支援推進補助(印刷広告宣伝費・委託料・備品購入費・消耗品費) ③ア 160件、上限10万円 イ 4件、上限50万円(ただしアと併用可) ウ 2件、上限340万円(ただし、アと併用可、イと併用必須) エ 2件、上限100万円 ④新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年(2020年)4月1日以降、新業態への転換・進出を実施した、または実施する市内事業者(諸条件有)	R2.5	R3.3	26,800	26,800	5月臨時補正	商工勤労課
4	休業要請事業者経営継続支援事業	新型コロナウイルス感染症対策市内事業者支援事業	①県と協調し、休業要請等に応じた中小法人・個人事業主の事業継続を支援 ②中小法人・個人事業主への支援金 ③兵庫県に対する委託金91,453千円(市内の中小法人等に係る支援金額(概算)※の1/3相当額) ※ 県内の支援金総額(概算)8,986,000千円(申請数見込:約29,000件、単価:50千円~1,000千円)を、H28経済センサスによる県内中小事業者数の割合で按分して算出。 ④次の3つの要件をすべて満たす中小法人及び個人事業主 (1)兵庫県内に事業所を置く中小法人及び個人事業主で、令和2年3月1日以前に創業していること。(2)令和2年4月又は5月の売上が前年同月対比で50%以上減少していること。(3)兵庫県の休業要請等に応じて、対象となる施設を、緊急事態措置期間中、継続して休業していること。	R2.5	R2.8	91,453	91,453	5月臨時補正	商工勤労課
5	宝塚市新型コロナウイルス感染症対策事業所等賃料補助事業	新型コロナウイルス感染症対策市内事業者支援事業	①新型コロナウイルス感染症拡大により、売上が20%以上減少した個人事業主に対し、事業所等に係る賃料を補助金として支給することで、その経済的負担軽減を図ることを目的とする。 ②ア 宝塚市内で個人事業主が事業のため、事業所等として事務所や店舗を賃借している賃料への補助 イ 本事業実施に伴う事務費(郵便料、消耗品費等) ③ア 1,800円×上限100,000円=180,000千円 イ 郵送料、消耗品費等 1,000千円 ④売上が20%以上減少している宝塚市内で事業所等を賃借している個人事業主で、中小企業信用保険法第2条第5項第5号に基づくセーフティネット5号の対象業種の該当する者(諸要件あり)	R2.5	R2.7	181,000	181,000	5月臨時補正	商工勤労課

No.	交付対象事業の名称	予算上の事業名	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④交付対象者（市自ら実施の場合は、－）	事業 始期	事業 終期	総事業費	交付対象 経費	予算区分	担当課
6	美しい村づくり資金利子補給金	農業事務事業	①新型コロナウイルス感染症の感染拡大により影響を受けた農業者に対して、経営維持に必要な資金の利子補給等を行い、貸付利率の無利子化等を図り、経営支援を行う。 ②基準金利1%のうち、県0.54%、市0.46%で負担する。 ③貸付上限額：個人1,000万円、団体2,000万円 ④－	R2.7	R3.3	104	104	5月臨時補正	農政課
7	遠隔・オンライン学習の環境整備、GIGAスクール構想への支援事業	看護専門学校費	①遠隔授業の実施環境を整え、看護専門学校生への学習機会を確保する。 ②通信ネットワーク関連費用 ③Zoomライセンス使用料 396千円 ④－	R2.5	R3.3	396	396	6月補正	看護専門学校
8	介護サービス継続支援事業補助金	民間老人福祉施設整備助成事業	①濃厚接触者等で自宅待機を命じられた通所サービス等の利用者に訪問介護・訪問看護のサービスを提供する事業者に対して、補助金を支給することにより、事業の継続を目的とする。 ②訪問介護・訪問看護に対する補助 ③@2,000円/1回×490人×3回/週×2週=5,880千円 ④訪問介護事業所、訪問看護事業所	R2.4	R3.3	5,880	5,880	6月補正	介護保険課
9	障がい福祉サービス継続支援事業補助金	障がい者福祉事業	①濃厚接触者等で自宅待機となった通所サービス等の利用者に居宅でのサービスを提供する居宅介護事業所と重度訪問介護事業所に対して、補助金を支給することにより、事業の継続を目的とする。 ②居宅介護・重度訪問介護に対する補助 ③@2,000円×50人×14日×6月=8,400千円 ※50人（サービス利用者25人×ヘルパー2人） ④居宅介護事業所、重度訪問介護事業所	R2.4	R3.3	8,400	8,400	6月補正	障害福祉課
10	新型コロナウイルス感染症にかかる災害時避難所用間仕切り用品	災害対策事業	①②災害時避難所用の新型コロナウイルス感染症対策としての間仕切りを購入する。 ③24,000円×88セット×1.1(消費税)=2,323,200円 ④－	R2.6	R2.12	2,324	2,324	6月補正	総合防災課
11	消防救急事業	消防救急事業	①消防救急体制を維持するため、救急隊員の感染防止及び他への感染拡大の防止に必要な消耗品及び資機材を充足させる ②イ救急現場活動用の医薬材料費 ロ不足する消毒用資機材 ③イ全身感染防止衣138千円＋マスク8ヶ月分2,279千円＋手袋半年分536千円 ロ噴霧消毒器548千円＋オゾン生成機351千円 ④－	R2.7	R3.3	3,852	3,852	6月補正	消防総務課
12	学校保健事業	学校保健事業	①学校生活や定期健康診断における感染防止対策 ②消毒液や非接触型体温計、サーモグラフィーなどの購入費 ③消毒液462千円＋非接触型体温計1,527千円＋サーモグラフィー4,900千円(37台)＋その他消耗品（ゴム手袋、フェイスシールド、ペーパータオル）910千円＝7,799千円、のうち3,000千円。 ④－	R2.6	R3.3	7,799	3,000	6月補正	学事課